

## 目標達成計画

作成日：平成 23年 11月 2日

目標達成計画は、自己評価及び第三者評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は2か月に1回(第4金曜日)に開催しているが、利用者ご家族と地域住民とで平日開催・日曜日開催と希望が異なっており、全員参加による会議が難しい。	個人の都合もあるので、必ず全員集合は難しいが、運営推進会議構成メンバー全員が、話題や視点を共有できるようにする。	ご家族・地域住民双方の希望を取り入れた会議の開催を行う。平日開催の日と休日(日曜日)開催の日を交互に入れ替える。また報告書を作成し、会議開催後できるだけ速やかに、会議構成メンバー全員にお届けする。	6ヶ月
2	35	災害対策について事業所内での対策は講じているが、地域との協力体制を築けているとはいえない。	事業所内だけでなく、近隣の方々との連携をとることができるようになるために、訓練を行う際の案内を運営推進会議メンバーを中心にもう少し広げる。	年2回実施の訓練を3回にし内容も分ける。1回は消防署指導を受け消火訓練を行い近所の方々にも参加していただくよう案内する。避難介助・通報訓練も別個行う。消火訓練は近所の方々にとってもメリットがあると思われるので、そこを中心にホームへの関心を持っていただけるよう取り組みを考える。	12ヶ月
3	10	利用者やご家族がホーム及び外部に対して意見・要望を現すことができるよう、『雰囲気づくり』『意見箱設置』『家族会・運営推進会議への参加促し』を行っているが、日常来訪時の職員との話以外での取り組みに対しては成果が低い。	利用者・ご家族がホーム職員以外とのつながりを活用できるように、ホームがまず地域との繋がりを作る。	認知症への対応方法等の研修会の開催や「シニアケア」という会社の紹介を通して、近所の方々にとって「活用できる」事業所があるということを認識してもらう。	12ヶ月
4	2	事業所が開設して10年が経過する中で、「地域との繋がり」はできていると感じられるが、「地域の一員として根差した」関係ができているかというわれれば、決してそうとはいえない。	地域との関わりについて先駆的な取り組みを行っている事業所のあり方を参考・目標にし、南塚口町なりの溶け込み方ができるようになる。	上記10・35等の取り組みをきっかけとして、ホームが「何をしているところか」を知ってもらうことと、現在参加している地域の行事に加え、地域で行われている行事等をもっと知る。	12ヶ月

5				ヶ月
---	--	--	--	----

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(様式2(2))

## サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他( )
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )